

② 文化財保護指導者講習会

ア 趣 旨

文化財に関する知識の普及と愛護精神の高揚をはかるため、文化財保護について指導的立場にある関係者に対し、文化財に関する専門的事項について講習を行い、市町村における文化財保護行政の進展に資する。

イ 主 催

福島県教育委員会・いわき市教育委員会

ウ 期 日 及 び 会 場

昭和57年7月28日(水)～29日(木)

いわき市文化センター・いわき市労働福祉会館

エ 講 習 内 容 及 び 講 師

(ア) 講 義

㊦ 「東北地方出土の中世陶磁器」

東北歴史資料館考古研究科長 藤沼 邦彦

㊧ 「博物館・歴史民俗資料館の資料展示のあり方と方法について」

慶応大学講師 国友俊太郎

㊨ 「仏像の見方について」

— 形と時代判定の仕方 —

東京国立博物館東洋課長 佐藤 昭夫

オ 分 科 会

(ア) 市町村文化財保護審議会の具体的活動と問題点事例発表

田島町教育委員会社会教育主事 佐藤 高慶

(イ) 緊急発掘調査における市町村の役割と問題点事例発表

山都町教育委員会主事 小沢 弘道

カ 現 地 研 修

白水阿弥陀堂、中田横穴、飯野八幡宮本殿

(2) 文化財指定の推進

① 県指定文化財

県内に所在する重要な文化財について、県文化財保護審議会の答申に基づき昭和58年3月25日付県教育委員会告示告示第1号～第3号をもって県指定文化財に指定した。

県指定重要文化財

種 別	名 称	員 数	所 在 地	所 有 者
1 彫 刻	木造二十八部衆立像 風神・雷神共	30 軀	河沼郡会津坂下町 大字塔寺字松原 2944番	惠隆寺
2	木造日光菩薩立像 木造月光菩薩立像 附 木造宝光 虚空蔵菩薩立像 木造聖観音 菩薩立像	2 軀	河沼郡会津坂下町 大字大上字村北 甲 789番薬師堂 内(旧瑠璃光山 調合寺)	浄泉寺
3	木造千手観音立像	1 軀	郡山市湖南町福良 字寺ノ前6164番 地	千手院
4 絵 画	白河ハリストス 正教会のイコ ン	48 点	白河市字愛宕町50 番地	白河正教会

種 別	名 称	員 数	所 在 地	所 有 者
5 考古資料	金銅製双魚袋金 具	2 枚	福島市杉妻町2番 16号	福島県
6	中田横穴出土品	1 括	いわき市平字梅本 21番地	いわき市

県指定重要有形民俗文化財

名 称	員 数	所 在 地	所 有 者
7 昭和村のからむし生産用具 とその製品	371点	大沼郡昭和村大字 大芦字宮田1588 番地	大芦民俗 資料保存 会

県指定重要無形民俗文化財

名 称	所 在 地	保 護 団 体
8 飯野八幡宮の流鏑馬と献饌	いわき市平字八幡小路84番 地	飯野八幡 宮

② 古文書緊急調査

県下に所在する古文書等について、その散逸、亡失を防ぐため、昭和55年度から3カ年継続で県文化センターに委託し、「陸奥代官領村方文書」について調査を実施したが、本年度調査カ所は次のとおりである。

なお、昨年度は「福島県古文書緊急調査報告Ⅰ」を刊行し、本年度は桑折・岡・川俣・塙及び小名浜の各代官所支配下の地方文書3,513点を収録した「同報告Ⅱ」を刊行した。

1 台宿区有文書	360点
東白川郡塙町大字台宿	
2 塙連合区有文書	86点
東白川郡塙町大字塙	
3 近藤良平家文書	436点
東白川郡塙町常世北野	
4 浮金行政区有文書	820点
田村郡小野町大字浮金	
5 石井静家文書	124点
田村郡小野町大字浮金	
6 蛭田政章家文書	204点
双葉郡楡葉町大字上小塙	
7 上小塙区有文書	813点
双葉郡楡葉町大字上小塙	

③ 文化財基礎調査

ア 年中行事調査

最近伝統的な生活様式や風俗慣習が著しく変容しており、そのためにそれを基礎として成立してきた年中行事も変化し、あるものは衰微している現況から、昭和55年度から3年継続で県内全域にわたり調査を行ってきたが、本年度はこの報告書を刊行した。

第1次調査件数 1,650件

第2次調査件数 8件

報告書収録件数 800件

○調査員 県文化財保護審議会委員 岩崎 敏夫

イ 工芸品調査

県内各地に現存する伝統的工芸品の実態を調査し、その保存を図るための基礎資料として、昭和55年度か